

平成22年度 シラバス	学年・期間・区分	5年次・前期・B群
	対象学科・専攻	土木工学科
土木史 (Historical Discussions on Civil Engineering)	担当教員	吉原 進 (Yoshihara, Susumu)
	教員室	土木工学科棟2階 非常勤講師控室 (Tel. 42-9125) 自宅 (Tel. & Fax. 0995-74-1031)
	E-Mail	sf.yoshi@heart.ocn.ne.jp
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義 / 学修単位[講義] / 1単位	
週あたりの学習時間と回数	〔授業 (100分) + 自学自習 (80分)〕 × 15回	
〔本科目の目標〕 土木が自然とどのように関わりながら技術開発を行い、人間社会に役立ってきたかを種々の資料を用いて幅広い観点から考える。過去の人々が生きるためにどのような努力をしてきたか、いかなる課題を積み残してきたか、それを将来へ引き継ぐために何に注意すべきかを考える。 この講義では、時間を追って出来事を羅列することはしない。		
〔本科目の位置付け〕 これまでに学んだ土木に関連する種々の専門科目が、実際の社会でなぜ必要であるか、それらをどのような場で実践するか、歴史性を考えつつ総合的に検討することによって、今後の土木事業の意義を考え、あるべき姿を構想する能力を培う。		
〔学習上の留意点〕 教科書やプリントによる古典を読み、スライド画像を鑑賞し、また講義を聴いて、よく咀嚼し、考え、批判し、それを文章で表現すること。特に、古典は語義や文法にとらわれないで、時代性のみならず、今日性を考えながら内容の把握に努めること。 なお、各種資料の閲覧やレポート提出にインターネットを使用する。		
〔授業の内容〕		
授 業 項 目	時限数	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標
1 講義内容の説明 テキスト(序論)	2	土木の意義、歴史に学ぶ必要性、 未曾有の事態への対応を理解し、説明できる
2 テキスト(2章 自然・環境) 古典教材(淮南子,今昔物語,短歌)	4	日本国土の脆弱性、災害への備え方を理解し、説明できる
3 環境問題と土木の関わり --- 前期中間試験 ---	4 2	土木と文明、伝統工法の意義、災害の諸相を理解し、説明できる 授業項目1~3について達成度を確認する
4 リサイクル煉瓦アーチ橋および既 設煉瓦アーチ橋見学(栗野駅周辺)	2	伝統工法の現代的意義、循環社会への挑戦を理解する
5 テキスト(3章 人間・社会) 古典(聖徳太子憲法,日本国憲法,ド イツ基本法,ワイマール憲法)	4	人間のあり方、社会のあり方、社会の秩序、民主主義について理解を深め、素 養を養う
6 テキスト(4章 景気・経済) 古典(古事記,二宮尊徳,上杉鷹山, 内村鑑三・代表的日本人)	4	経済を支える意義、国づくりの意義、ものづくりの意義を理解する 国づくりに関して理解を深める
7 テキスト(5章 科学・技術) 古典教材(ゲーテ・ファウスト,原 龍太,芳川顕正・本末論)	4	科学技術の役割を理解し、将来に適用できる素養を養う 国づくり、都市改造に関して理解を深める
8 テキスト(6章 美・醜) 写真解説(橋梁総論) --- 前期期末試験 --- 試験答案の返却・解説	4 2	土木構造物と美の関係について理解し、応用する素養を養う 橋梁に関しての認識を深める 授業項目1~8について達成度を確認する 各試験において間違った部分を理解出来る
〔教科書〕 吉原 進著「持続可能な日本 土木哲学への道」、技報堂出版 〔参考書・補助教材〕 必要に応じ補助教材(基本教材はプリントにして配布する)。		
〔成績評価の基準〕 期末レポート(50%) + 中間レポート(30%) + ノート(20%) - 授業態度(15%)		
〔本科(準学士課程)の学習教育目標との関連〕 1-b, 4-a 〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕 1-2 〔JABEEとの関連〕 (a), (b)		